



©Yuki Asada

心と心をつなぐナイロビバッグ

赤、青、緑、黄、オレンジ…。目の覚めるような鮮やかな色使いが特徴的なアフリカの布製品。日本人が身に付けるにはちょっと勇気のいるこのファッション。まずは手軽に始められるところからと、ケニア産の「ナイロビバッグ」がちょっとした人気だ。

製造を手掛けるのは、首都ナイロビのキベラスラムにある「マゴススクール」。この学校を支援する現地在住のフリーライター早川千晶さんと、アーティストのMISIAさんがアフリカの子どもたちの教育支援のために設立したNGO「Child AFRICA」のタイアップ商品だ。

MISIAさんは2007年と08年にキベラスラムを訪問。「子どもたちの教育のために何ができるだろうと、現地の方と

話をしたんです」。そこで、マゴススクールに併設されている職業訓練所で布製バッグを作ることに。MISIAさんが現地で自ら選別した約15種類の生地を、生徒の母親たちが足踏みミシンで一針一針愛情を込めて縫っている。

ベルトを結んで長さも調整でき、お出掛け用にちょうどいいサイズ。小物を入れるのに便利なポケット付きだ。Child AFRICA代表の長島美紀さんは、「モノを通じて、アフリカの人たちとつながりを感じることができる。シックな服にも合う、便利なファッションアイテムです」と話す。

世界に一つしかないナイロビバッグ。アフリカが気になるあなた、ぜひ一つ持ってみては。



マゴススクールの子どもたちと交流するMISIAさん
 ©Child AFRICA

問:Child AFRICA
 ナイロビバッグ3,800円(税込)はHPで購入可
 (個数限定生産のため、なくなり次第販売終了)
 URL:<http://child-africa.org/>
 TEL:03-5414-7778

★ナイロビバッグを3人の方にプレゼント!
 詳細は38ページへ→

